

を昇ります。夏には多くの富士登山客が訪れます。

富士宮といえば、B級グルメのB-1グランプリで第1回(青森)と第2回(富士宮)で優勝した「富士宮やきそば」があります。富士宮やきそばは昔から独徳の味がありましたが、麺は堅く、噛み応えがあり、麺以外に麺に掛ける削り粉(かつおの削り粉)、油粕、紅刻み生姜があり、味を一段と引き立てています。

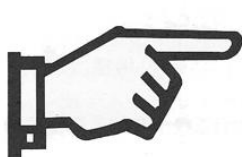
市内には富士宮やきそば学会もあり、富士宮やきそばマップも作られています。市内には約30店あり、それぞれ富士宮やきそばの昇りを立てておりますが、富士宮浅間神社前のお宮横丁でも富士宮やきそばを味わうことができます。

最近はおみやげ品として新幹線の新富士駅や市内スーパーで販売されるようになりました。また東京駅などでも販売しておりますが機会があれば一度富士宮に来て富士山を眺めながら味わってみてください。



富士宮やきそば

(社)日本建設機械化協会 落合 富士男



## ここにこんな人が わたしの履歴書

日本車輛製造株式会社  
機電本部営業総括部次長 深谷 康生



深谷 康生(ふかや やすお)  
昭和26年5月15日愛知県生まれ  
昭和45年日本車輛製造(株)入社  
平成3年フロント工事長  
平成19年営業統括部次長に就任

充実した街であり、新幹線、JR本線、私鉄、国道1号線が横断しておりアクセスもたいへん便利で住みやすい町です。子供のころは絵を描くことが好きで、小学4年のころに登場した名鉄パノラマカーの絵をたくさん描いた記憶があります。中学時代からはテニス部に入り、学生時代は毎日テニスの日々であり、社会に出てからもテニスで多くの仲間と出会いました。

### ■ 社会に出て

昭和45年、高度成長真の時代であり、大阪万博が開催された年に父親が勤めていた関係もあり日本車輛に入社しました。もともと車両メーカーとの認識で入社しましたが産業機械や建設

機械の管理部門に配属され、輸送関連の仕事に携わりました。昭和48年のオイルショック以前は産業機械(大型キャリア、トレーラ、特殊トラック等)が主流であったが、昭和50年以降は主力製品である基礎機械に特化して、杭打機やクレーンの開発製造が進められ、それらの輸送に従事しました。昭和58年より営業部隊として東京に単身赴任をして、ものを売ることの難しさを実感しました。販売を通しての人のつながりは今でも大切にしています。昭和63年よりバブル景気で工場がフル生産となり、名古屋に戻り製造部門に配属。平成3年にフロント工場長に任命され、生産部門での工程管理、安全衛生、工場5S活動を通し、生産システムや製造の仕組みを学びました。平成11年に販売部門(日熊工機)を吸収し、製販一体化した年に営業総括部に配属され、現在に至っています。

### ■ 趣味・信条

趣味は子供のころからの釣り。特に海釣りが主で、今では会社と町内の釣りの会に所属しており、最近静岡御前崎への釣り紀行で仲間との釣り談義を毎回楽しみにしています。

10年ほど前から地元刈谷市の無形民族文化財である『奴のねり』(大名行列の先導役として槍や籠を扱い、独特な掛け声とともに練り歩く)の会に入り、年に数回の披露をして地域との交流も楽しんでいます。

信条は元々気取るほどのものはありません。最近「ゆっくり楽しく」を心がけ、仕事も生活も趣味も基本マイペースでいきたいと考えています。

### ■ 今後の展望

わが社は創立110周年を超えました。平成20年にJR東海殿の子会社となり、今後車両メーカーとしても飛躍するとともに、建機部門においても、三点支持杭打機や全回転チュービング装置のさらなる開発を続け、基礎施工や岩盤施工に携わる皆様の発展に寄与したく邁進していきたく思います。

(日本車輛製造株) 深谷康生

### 【お知らせ】

◆岩盤削孔技術協会の活動も各方面からご評価をいただき、岩盤削孔工法も広く利用されるようになって参りました。これまでのアースオーガ掘削工法・ロータリ掘削工法・パークッション掘削工法・ケーシング回転掘削工法4工法の累計工事件数も23,000件を超え、累計掘削長も約2,700万mに至りました。

これもひとえに、大口径岩盤削孔技術を磨き、普及させ、信頼性の高い工事を実施することで顧客の期待に応えるべく、会員が努められた成果でございます。